活用の手引き

校種（小学校）　　学年（２）年　　教科名（算数）
１　単元・教材名 くりさがりのあるひき算
２　指導目標 （２位数）＋（２位数)、(百何十何）－（２位数）の筆算の仕方について理解し、計算することができる。
３　ＩＣＴ活用のポイント 授業場所　□コンピュータ室　■普通教室　□その他（　　） 授業形態　■一斉学習　□グループ学習　□個別学習　□補習 ＩＣＴを活用する場面　□導入　□展開　■まとめ　□その他（　　） ＩＣＴを主に活用するもの　■教員　□児童・生徒 ＩＣＴを活用する目的　■課題の提示　□動機付け　□教員の説明資料 ■繰り返しによる定着　□モデルの提示　□体験の想起 □比較　□振り返り　□その他（　　）
４　授業の流れ 【導入】　たしざんの復習をする。 【展開１】１０３－６７の計算方法を考えて、ワークシートに書き、発表する。 ・筆算の式に書いて考える。 【展開２】２回繰り下がりがある筆算の仕方をまとめ、プリントに書く。 （ＩＣＴ教材の活用） 【まとめ】練習問題をする。
５　成果と課題 ・問題のイメージを持たすことができる。 ・考え方をイメージすることができる。
６　指導のポイント ・計算棒の束（絵）を並べる際に、スムーズな資料提示しやすい。 ・処理の仕組みを声に出して説明する際に、計算の流れを繰り返し提示しやすい。